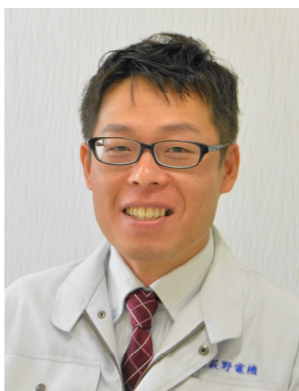




## 未経験から

## 電気工事のプロに



代表取締役  
萩野 恒介さん

(令和5年12月取材)

(本社)



### ◇御社の歴史を教えてください

当社は昭和20年に創業し、和歌山県を中心とした電気工事業を営んできました。はじめは、地域の地場産業で利用されている機器のメンテナンスから始まり、まじめな仕事ぶりが次の仕事を呼んで、建設業界の電気工事業に携わるようになっていきました。

現在は、公共施設・工場・商業施設などのあらゆる規模の電気工事を行っています。これからも地域の方、お客様のお役に立つ会社であり続けられるよう努力していきます。

### ◇「ものづくり」へのこだわりは？

当社は電気図面から見積書を作成する「積算部」と、電気図面を見て工事をする「施工部」、現場の司令塔として監督をする「管理部」の3つの部署を配置しており、電気工事全体を自社で責任を持って行える体制にしています。

また、工事で正確な仕事を提供するのは当たり前のことなので、そこに加えて社員のお客様への誠実さもウリにしています。当社の経営理念の一つに「自らが源となり、感動を与える仕事をします。」という言葉掲げています。誠実な対応とまじめな取り組みでお客様に感動してもらうことも、こだわりの一つですね。



社員のまじめな仕事ぶりも、  
当社のウリです

### ◇従業員の人材育成は？

新しい人材を育てていくことが重要と考えていますので、人材育成には非常に力を入れています。

ベテランの社員には若手社員に技術を伝える「人の育て方」を意識してもらうために、人材育成の専門家である講師を招いて定期的に研修を行い、長期的な目線でコミュニケーションスキルの向上に向けた取組を行っています。

若手社員についてもコミュニケーションスキルはもちろん、資格取得の意識付けを行い、空いている時間を使って勉強会を実施し、資格取得を推進しています。併せて、仕事上での自らの存在意義・価値を高めるために、若手の意見交換会を実施するなど、様々な取組を行っています。

### ◇ポリテクセンターから採用した感想は？

当社では3名の修了生を採用しており、「積算」や「施工」の部署で活躍してもらっています。全員社会人としての経験を持っているので、社会常識が身につけていますし、ポリテクセンターで事前に勉強することで入社当初から電気工事業界でやっていく、という信念があります。

電気工事の仕事は最初は難しいと感じることもあるかと思いますが、頑張る気持ちさえあれば1年後には必ず見える景色が変わってきて、面白さを感じることができるようになります。

採用した3名のうち、1名は女性の技術者です。電気工事の業界にはあまり女性が多くないので、女性が活躍していると会社や現場の雰囲気が変わり、とても良い影響が出ています。もっと女性の方を採用出来たら良いなと思っています。

未経験の方もぜひ電気工事の業界にチャレンジしていただきたいですね。

### 電気設備技術科 企業実習付コースの修了生が活躍中！

平成29年6月修了 日野 和幸さん(38歳)

#### ◇企業実習先でそのまま再就職

前職はフリーターとして、ライブ会場の設営やコンビニなど、様々な仕事を経験してきました。そろそろ何か手に職をつけたいと考えていたところ、ハローワークから職業訓練を紹介されたことがポリテクセンターを知ったきっかけです。中でも特に、電気設備技術科では企業実習付きのコースがあり、未経験の業界に就職する前に仕事の体験しながら自分に合った業界なのか確認できることや、電気工事士の資格を取れば就職の幅が広がることに魅力を感じて、電気設備技術科(企業実習付コース)の訓練に申し込むことを決めました。

電気の仕事は全くの未経験だったため、知識も中学校や高校で習った程度しかありませんでした。訓練では実際にケーブルに触れて、簡単な配線作業をするところから始まり、なんとなくのイメージでしか知らなかった電気の仕事が、訓練を通じてどんどん理解できるようになっていきました。電気の仕事に必須となる電気工事士の資格対策では、個人で勉強するのは材料を揃えたり、わからないところを調べたりするところが大変になってくると思いますが、訓練では整った環境の中で勉強できるので合格にスムーズにつながるのありがたいかったです。

訓練の5ヶ月目で企業実習が始まり、萩野電機で約1ヶ月お世話になり、そのまま縁があって就職することになりました。企業実習では現場の電気工事の作業をやらせてもらったので、訓練を受けるだけでは想像できない部分まで、実際の仕事を体験することができました。

電気というのは重要なインフラなので、電気の仕事は絶対無くない、「食いつぶれられない」業界だなと思っています。手に職をつけたいという気持ちとやる気があるなら、絶対活躍できると思います。ぜひ電気業界に来てください！



#### 現在担当しているお仕事

主に積算業務を担当しています。電気図面などを確認しながら必要な部材の数量を算出して見積書を作成しています。電気工事を行うにあたっての大事な予算を決める役割なので、工事に必要なものを見落とさないことが重要です。

### 電気設備技術科の修了生が活躍中！

令和4年6月修了 金城 友里さん(38歳)

#### ◇電気工事は女性が活躍できる業界

前職では電装関係(自動車などに電気関係の装置を備え付けたり配線を行う仕事)をしていましたが、半導体不足の影響で仕事が少なくなった時期があり、「この状態のまま今の仕事を続けても……」と思い転職を決意しました。在職中にハローワークに相談し、職業訓練を紹介してもらった際に、「電気工事や制御盤の仕事なら、前職で電気に関わる仕事をしていたし、ニッパーやストリッパーなどの工具を使っていたことや、ハンダ付けを行っていた経験を活かした仕事ができるかもしれない」と考え、離職後にポリテクセンターの電気設備技術科に申し込みました。

6ヶ月の訓練は全体的にどの授業も楽しく受講することができました。訓練では電気工事だけではなく、シーケンスなどの制御に関する内容もありましたが、現場で電気工事の仕事をしている中で、あまり関係ないと思っていたシーケンスなどの制御に関する用語が出てくることもあり、訓練中に苦労して勉強した分野が電気の仕事をする上でちゃんと生きてくるのだな、と実感することがあります。仕事が始まってからも勉強は必要ですが、仕事をしながらイチから勉強するのはやっぱり難しいので、就職の前に訓練で基礎を習得することができたのはありがたいかったです。実際の仕事現場は訓練の実習で習ったことよりも幅が広く、まだまだ難しいところもあるので、いろいろな経験を積みながら現場を任せてもらえるようになることを目指していこうと思っています。

電気工事の業界はまだ女性が少ないのが正直なところですが、住宅の現場などでは、お客様は女性が来ると安心するみたいです。そういった「女性の強み」をプラスして、活躍できる業界だと思っています。一人前の職人さんはやっぱり見ていて「カッコええな！」と思いますし、将来性のある業界だと思います。受講を迷っている方はぜひチャレンジしてみてください！



#### 現在担当しているお仕事

他の職人さんと一緒に、配管・配線・器具付けなどの現場施工を担当しています。高所の作業はドキドキすることもあります。安全帯を付けて作業を行っています。将来は一人で作業することはもちろん、現場管理も出来るオールマイティな活躍をしたいと思っています。